



2021年11月12日

各 位

会 社 名：北海道中央バス株式会社
代表者名：取締役社長 二階堂 恭仁
(コード番号 9085 札幌証券取引所)
問 合 せ 先：取 締 役 大 森 正 昭
専務執行役員
TEL 0134-24-1111

業績予想に関するお知らせ

当社は、2021年5月14日に公表しました「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」及び2021年8月11日に公表しました「2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりましたが、2022年3月期の連結業績予想について、下記の通り決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

2022年3月期 通期連結業績予想 (2021年4月1日 ~ 2022年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	27,200	△3,000	△2,300	△2,300	△878.85
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	28,631	△4,129	△3,178	△2,248	△859.15

2. 業績予想公表の理由

2022年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により合理的な算定が困難であることから未定としておりましたが、上半期の輸送状況等を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき、通期連結業績予想を算出しましたので公表するものであります。

売上高は、27,200百万円(前連結会計年度比5.0%減)を見込んでおります。旅客自動車運送事業及び観光事業において、外出自粛の影響などによりコロナ禍前の水準を大きく下回りますが、前期の2021年3月期と比べては増収を見込んでおります。しかし、建設業におい

て、完成工事高が減少し、全体では減収となる見込みであります。

設備投資の抑制や全般的な費用の削減に取り組んでおりますが、営業損失は3,000百万円、経常損失は、2,300百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は、2,300百万円となる見通しであります。

なお、配当予想につきましては、引き続き、未定とさせていただきます。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づきながらも、不確実性要素が多々あり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上